

メンテナンスをする理由

メンテナンスは人と言うところの健康診断や予防接種になります。

設置場所や空気条件によって劣化の個体差があるため、定期的なメンテナンスを行うことで、適切な消耗部品の交換や内部装置の清掃・状態改善を実施することができます。各装置の延命、性能測定による現在の能力状態のお知らせも行っております。

メンテナンスをしないとどうなるのか

駆動部品の破損による機器の停止や、性能低下による環境への悪影響などが考えられます。また、定期的なメンテナンスを行わないと、装置の異常が出始めた段階での予防が取れず、部品の破損により、修理費用がかかります。さらに、修理が完了するまで装置を停止することになり、その間の機会損失も発生します。

●全熱交換器の場合

全熱交換ローターに粉塵等の目詰まりが発生すると、風量不足による室内の二酸化炭素濃度の上昇が見られたり、熱交換率が低下することでエアコンへの負荷がかかり、電気代の上昇に繋がってしまいます。



剥離して隙間が見られる

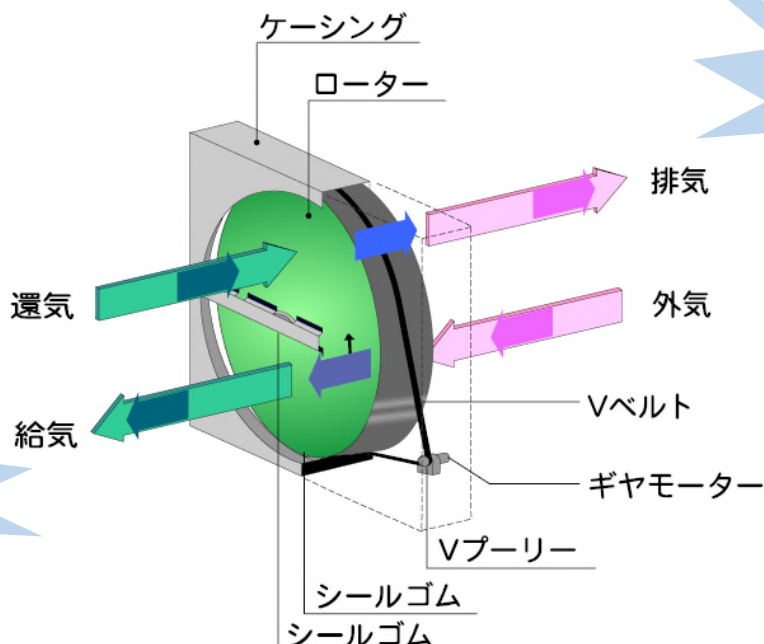
メンテナンスを10年以上行っておらず、ローターの中心部のボスと素子が剥離し、運転できない状態に…



ロックし、回転できない状態に…

ローターを回転させる為のモーターも長年の運転により破損してしまいます。ローターを回す為のVベルトも同様です。

メンテナンスが不足すると…



空気循環
能力低下

メンテナンスで行うこと

ローター清掃や内部清掃



ローターの素子内部に溜まった粉塵を取り除き、下がった性能を取り戻す作業です。同時に内部清掃も行い、汚れの原因考察を行います。

部品交換



各種消耗部品の交換を行っています。部品には廃盤になった物もあり、現行では寸法違いの部品もあります。そのような部品との取り合わせ検討も行います。

補修作業



機械をより長くご使用頂けるように、老朽化した部分や、錆の浮いた部分の補修を行います。

各機器の状態チェック



ファンやモーターなどの絶縁抵抗値や運転電流値を計測し、以前と比較を行い異常が無いかを確認します。振動計による調査も行います。

駆動装置の給油



各駆動部にある軸受けの給油を行います。給油を行っていない箇所では、焼き付きや破損を生じてしまいます。

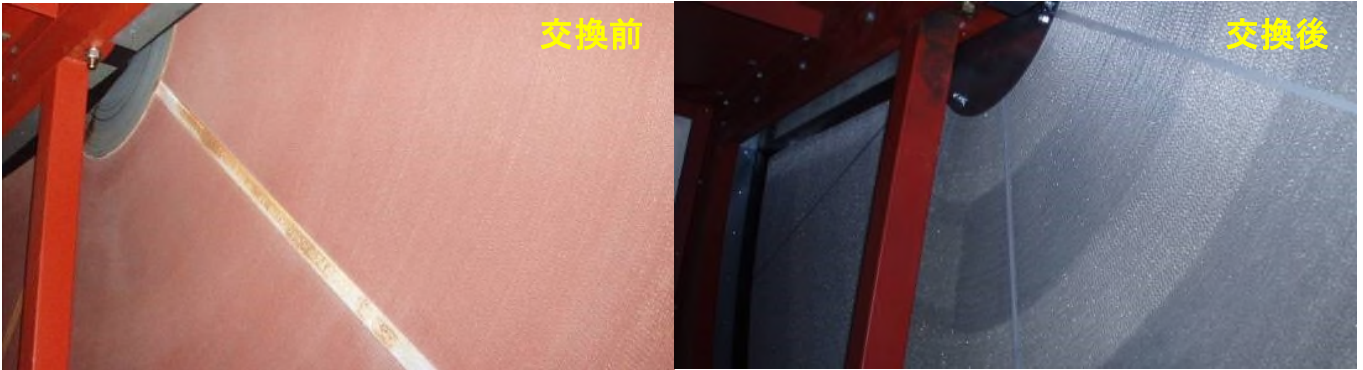
消耗箇所の状態チェック



消耗部品箇所の点検を行い、部品交換のお知らせや、交換周期のご提案を行います。

その他

ローター交換



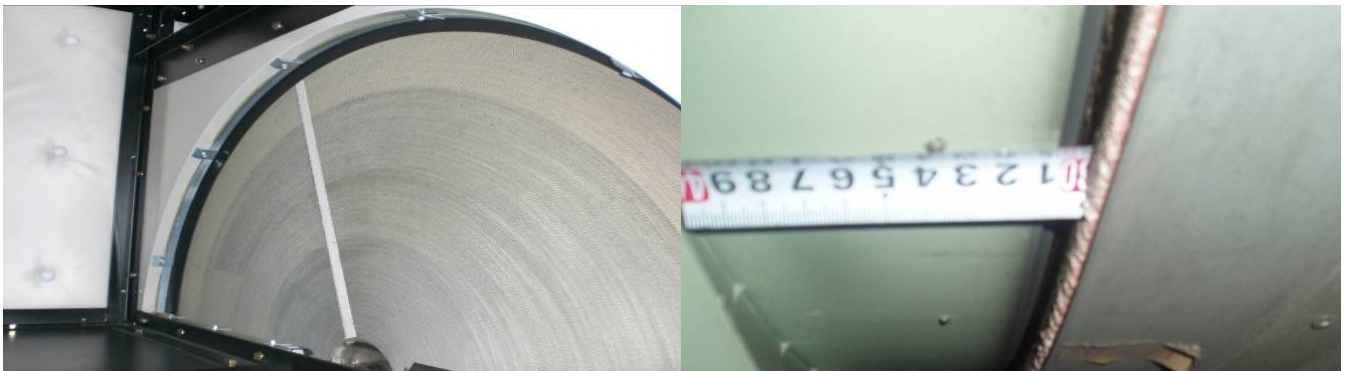
長年の使用で性能の落ちたローターや破損したローターを新しいローターへ交換します。写真は全熱交換器の難燃紙で作られたローターを、アルミ製ローターへ交換したケースです。アルミローターは難燃紙より交換効率が高く、臭気移行も少なくなります。

交換部品提供



エアシール、モーター、ローター、ベルト等の消耗部品も各種ご提供します。お気軽にご相談下さい。

現地調査



長年メンテナンスを行っていないお客様や、機器が故障してしまったというお客様には、現地調査に伺い、交換の必要な機器のチェックや選定を行っております。大型の部品の場合は調査時に搬入手順等も合わせて検討します。